

登録統計調査員とは

1 意義

国や地方公共団体といった公的な機関が行う重要な統計の大部分は、多くの世帯、事業所や企業に対して実際に調査を行ってデータを集め、それを集計して作られます。そして、その調査結果は、国や地方公共団体が施策を考えたり実行したりするための基礎資料として欠かすことができないものであるとともに、広く一般に公表され、民間でも使われています。

2 役割

福山市では、各学区の自治会連合会からの推薦により、常任統計調査員を設置していますが、国勢調査のほか各種統計調査において、調査員が不足し円滑に調査を実施することが困難な場合があります。そのため、あらかじめ統計調査員として活動を希望される方を登録し、常任統計調査員の補完的な役割を担っていただくものです。

3 主な職務

各種統計調査の実施時に、お住まいの地域で調査員が不足する場合、調査員として担当します。また、広島県が実施する月例調査（労働力調査・小売物価統計調査・家計調査・毎月勤労統計調査等）の実施時にも、調査員を担当することがあります。

4 要件

- (1) 職務上知り得た秘密は決して他の人に漏らさないこと（守秘義務）。
- (2) 選挙に直接関係のない方。警察官及び税務職員（徴収職員、徴税吏員）ではない方。

5 報酬

調査活動に応じた報酬が支給されます。

統計調査活動について

国や地方公共団体などの行政機関が行う統計調査は、「統計法」という法律に基づいて行われます。国民に広く知られた大規模な調査のほとんどは「基幹統計調査」と呼ばれるものです。ここでは、「基幹統計調査」の中から、いくつかご説明します。

全国家計構造調査

無作為に選定した世帯を対象に調査します。

家計における消費、所得、資産及び負債の実態を明らかにします。

次回は2024年（令和6年）10月の実施予定です。

【調査員の平均報酬額】基本調査：約192,000円/簡易調査：約91,000円

農林業センサス

農家・林家、農林業を営む会社等を対象に調査します。

農林業の生産構造や就業構造の実態を明らかにします。

次回は、2025年（令和7年）2月の実施予定です。

【調査員の平均報酬額＝約34,000円】

国勢調査

我が国に在住するすべての人及び世帯を対象に調査します。

人口や世帯数、年齢構成などを調べます。

最も大規模な統計調査で、5年に一度行われます。

次回は、2025年（令和7年）10月の実施予定です。

【調査員の平均報酬額＝約57,000円】

このように様々な種類の統計調査がありますが、いずれの調査も事前に「事務打合せ会（説明会）」を行い、活動方法について詳しくご説明します。

・事務打合せ会等（抽出会・書類の提出含む）は原則平日の日中に行います。

ただし、都合がつかない場合は個別に対応させていただきます。

・事務打合せ会等の所要時間は約60分～120分です。

その他、活動の詳細については4ページ「統計調査の仕事の流れ」をご参照ください。

統計調査員の仕事

統計調査員は、総務大臣等又は都道府県知事から任命される非常勤の公務員として、統計調査に従事しています。具体的には、調査対象である世帯や事業所などに、調査票を配布するとともに、調査票に正しく記入していただけるよう、統計調査の趣旨や内容などについて説明を行うとともに、記入された調査票を回収し、その点検・整理などの仕事を行っています。

統計調査員が担う役割と重要性

統計調査の対象となる方々は、多くの場合、統計調査員が訪問して、初めて自分が調査対象になっていることや調査の内容について知ることになります。このため、世帯や事業所といった調査対象の方々の中には、その調査について知らなかったり、仕事が忙しかったりなどで、統計調査に協力していただくことが難しいことがあります。

統計調査を行う上で、調査対象の方々に、調査の趣旨や内容などについてよく理解していただき、調査票に正しく記入していただくことはとても大切です。このためには、統計調査の第一線で、統計調査員が調査対象の方々と直に対応することで、理解と協力を得ることが重要です。

統計調査員は、調査対象の方々を訪問し、調査票の記入依頼や調査票の回収・点検といった統計調査の仕事の中でも基本的で重要な部分を受け持っています。

統計調査員が回収した調査票は、「統計」としてまとめられ、統計調査の結果として世の中に公表され、国や地方公共団体を始め様々なところで広く利用されています。このため、統計調査員一人一人の取組は、統計の信頼性や正確性を左右することとなり、統計調査の結果を利用して実施される施策の方向性にも影響を与えることとなります。

このように、統計調査員の役割は非常に重要なものとなっています。

統計調査員の安全対策

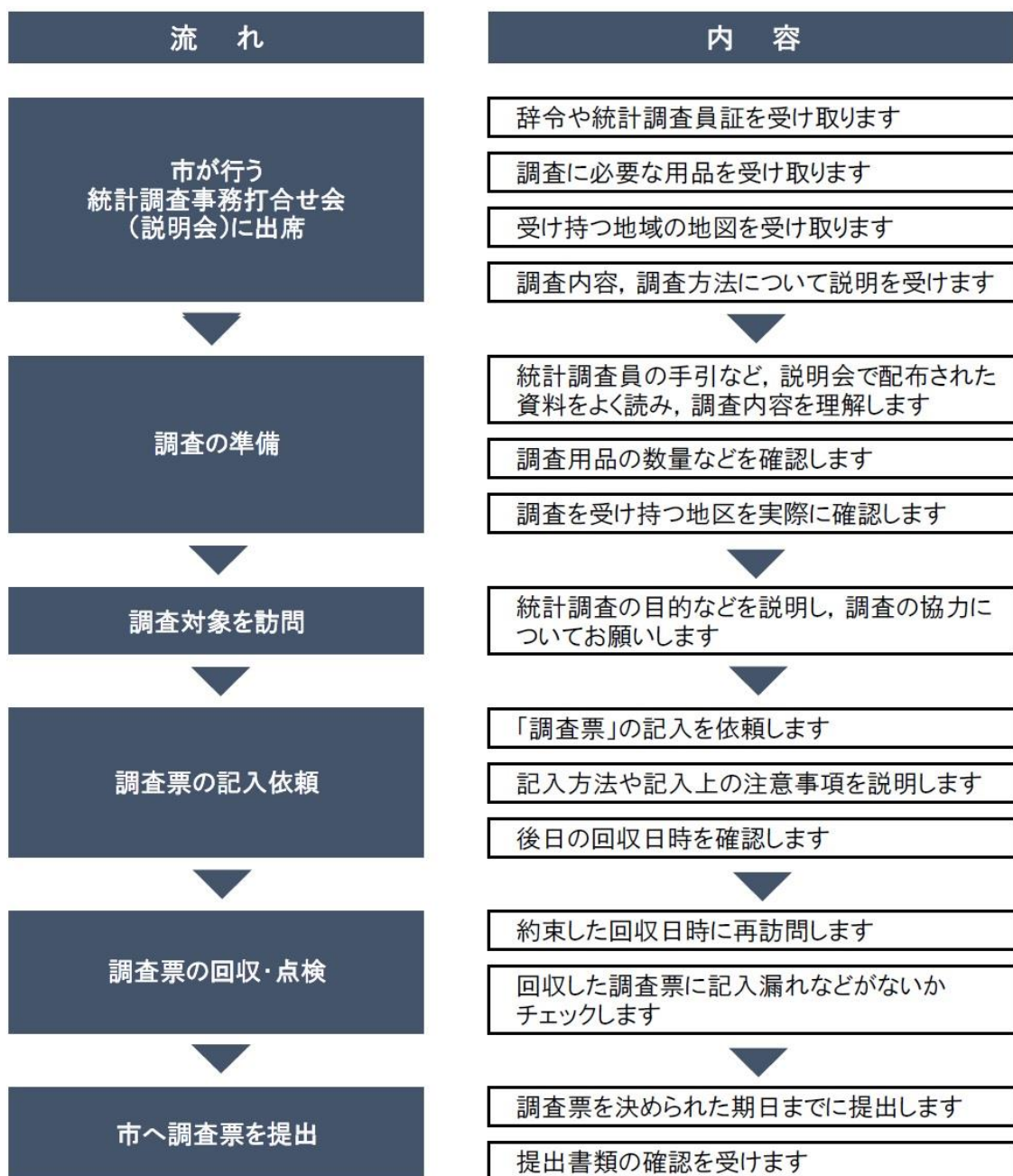
統計調査に従事している時の事故などを防止するため、統計調査員が安心して調査に従事していただけるよう、安全対策がなされています。

統計調査の実施に当たって開催される「統計調査員事務打合せ会（説明会）」において、調査中の事故防止などを中心に安全対策について説明を行っているほか、防犯ブザー、懐中電灯といった「安全対策用品」が配布されます。

また、統計調査員の事故などを未然に防止するため、地域の実情に応じて、統計調査指導員が統計調査員に対して調査上の留意点についてアドバイスしたり、同行したりするなどの支援を行ったり、統計調査員同士が連絡を取り合い、それぞれの担当する区域を相互に協力して調査活動を行うことができるように努めています。

統計調査員の仕事の流れ

この流れは標準的なものです。内容については調査によって異なります。



統計調査員の待遇など

統計調査員の身分

統計調査員は、総務大臣等や都道府県知事から、統計調査の都度任命される公務員です。任命期間中は、国・都道府県・市区町村に勤務する職員と同様に公務員の身分を有しますが、その業務が一時的なものであるため、非常勤の国家公務員又は地方公務員とされています。なお、職務の特殊性から、一般の公務員とは異なった取扱いがされており、例えば、営利事業の従事制限はありません。

統計調査員の報酬

統計調査員には、調査活動に従事した対価として、法律や条例の規定に基づき、報酬が支払われます。報酬額は、統計調査の種類や調査活動にかかる日数などを考慮して定められています。

統計調査員の災害補償

統計調査員は、非常勤の公務員ですから、調査活動中(任命期間中)に災害(交通事故など)に遭った場合には、一般の公務員と同様に、法律や条例の規定に基づいて、公務災害補償が適用されます。

統計調査員の表彰

特に功績の顕著な統計調査員に対しては、叙勲や藍綬褒章が贈られているほか、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣など各統計調査の実施者から、それぞれの統計調査について功績のあった者に対して、表彰が行われています。

また、これとは別に、都道府県知事や一部の市区町村長からの表彰も行われています。

統計調査員の義務（守秘義務）

統計調査の項目には他人に知られたくない事項も含まれていますので、調査対象から正しい内容を申告していただくため、統計調査員は、統計法で秘密の保護が義務づけられており（守秘義務）、秘密を漏えいした場合などには、罰則が適用されることとなっています。

先輩統計調査員の声

統計調査員を継続していただくことで、経験やノウハウが蓄積され、正確かつ円滑な調査の実施に貢献しています。

調査活動で分からないことや困ったことがあれば、ベテランの調査員に質問したり相談したりすることができますので、経験の浅い方でも安心して調査活動を行っていただけます。

福山市の統計調査員の方の声を一部ご紹介します。

調査活動の中で良かったこと・嬉しかったこと

- ★ 経験や知識が増えたこと
- ★ 自分の説明を理解してもらい協力が得られたこと
- ★ 地域の土地勘が身についたこと
- ★ 老化が防げ、健康維持に役立っている
- ★ 体力維持に貢献している
- ★ 色々な人に出会えて、他人との対応スキルが上がったこと
- ★ 自分のしている調査がマスコミで報道されたとき

統計調査員をしている主な理由

- ★ 社会貢献のため
- ★ 社会とつながっているという感覚があるから
- ★ 健全な社会生活を送るため
- ★ 人に頼まれたから



◆参考文献

- [1] 総務省政策統括官(統計制度担当). 「統計調査員の仕事などについて」. 総務省
https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/2-7-1.html, (参照 2023-09-04)
- [2] 公益財団法人統計情報研究開発センター. 統計調査員のしおり, 2023